



かはくオンライン・スクールプログラム(令和3年9月から開始)

かはくスクールプログラムとは、学校の皆さんにより効果的に博物館を活用していただくための学習プログラムです。科学に関する体験学習を科博の職員等が実施します。プログラムの対象は、小学校、中学校、高等学校等です。

現在、国立科学博物館に来館して行うスクールプログラムは中止しておりますが、**令和3年9月より、オンラインを活用して、学校の教室から参加することができる「かはくオンライン・スクールプログラム」を開始することとしました。**理科を中心とした教科学習や総合的な学習(探究)の時間を実施する際などに、是非ご活用ください。

1. 概要

所要時間	1プログラム 45分程度
対象	教科の学習や総合的な学習(探究)の時間で利用する学校(小学校、中学校、高等学校等)
実施内容	来館型プログラムの内容を、オンライン用にアレンジした、「 骨ほねウォッチング 」(人の全身骨格模型の組立を通じて、人と体のつくりについて学ぶプログラム)と「 鳥のくちばしのひみつ 」(鳥類の頭骨標本を観察し、くちばしのつくりや働き、食物、生息環境等を学ぶプログラム)の2種類で、いずれかの選択となります。両プログラムの詳細は、HPでご確認ください。なお、両プログラムには、国立科学博物館の展示見学ガイダンスの内容も含まれます。
実施日	令和3年9月以降 の月～金曜日(※祝日を除く) 9:30～12:30、14:00～16:00 ※受付枠数は 1か月に4校程度 です。ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。
申込み手続き	かはくオンライン・スクールプログラム申込みフォームからお申込みください。 教員のサポートが必要になりますので、児童生徒のみによる申込みはできません。 詳細は、 https://www.kahaku.go.jp/learning/learningtool/material/schoolprogram.html をご覧ください。
申込期間	実施希望日の1か月前まで。受入れの可否は、受付後2週間以内にメールにてご連絡します。
学校で必要な準備物	ウェブ会議システムZoomが利用できる環境をご準備ください。 ※学校の情報端末の環境の整備状況等によりお受けすることができない場合があります。 ※30分程度の事前打ち合わせ(接続テスト)をプログラム実施日の1週間前を目処に実施します。 ※事前打ち合わせ(接続テスト)用の招待URL(会議IDとパスワード)は、予約確定時にお知らせします。
備考	費用は無料ですが、本プログラムを行うための機器、ネットワーク等については、各校で手配をお願いします。オンラインの接続等に係る経費は、各校の負担となります。 そのほか、本プログラムを実施するに当たり、注意事項等は、HPをご確認ください。



国立科学博物館で実施しているオンラインを活用したコンテンツの発信について



かはくVR ～教室でかはくをバーチャル体験～

学校の教室にしながら、国立科学博物館にいるかのようなバーチャル体験ができるコンテンツです。当館は、我が国における自然史及び科学技術史の中核的研究機関であり、保有する標本・資料は、動物・植物・菌類標本、鉱物、化石、人骨、科学技術史資料や生きた植物など多岐にわたります。そんな数多くの標本・資料や研究成果を展示に生かしており、上野本館では約2万5千点が展示されています。この上野本館の展示をPCやタブレット端末等でお楽しみいただけます。学校における理科の学習をより深めるとともに、児童生徒の科学的リテラシーを育む観点から、かはくVRを是非ご活用ください。



「おうちで体験！ かはくVR」



「かはくVR」
QRコード

<https://www.kahaku.go.jp/VR>

当館の館長や研究員による「かはくVR」の解説動画

例えば、館長による「かはくVR」を活用した人類展示の解説動画など、館長や研究員による「かはくVR」を活用した展示解説を動画にて、配信しております。

かはくVRで人類展示を巡ろう！（日本館編）



国立科学博物館 篠田謙一 館長

かはくVRでイチョウの歴史を調べよう！



地学研究部 矢部淳研究主幹

配信先: YouTube【国立科学博物館公式】かはくチャンネル (<https://www.youtube.com/user/NMNSTOKYO/>)

国立科学博物館公式 YouTube「かはくチャンネル」

当館の研究者による多様な動画を配信しております。授業などにご活用ください。

配信先: <https://www.youtube.com/user/NMNSTOKYO/>

中学生向けライブ配信イベント(令和3年8月16日開催)

文部科学省科学技術・学術審議会人材委員会委員である日本テレビアナウンサーの榎太一さんと動物研究部 田島木綿子研究主幹によるオンライン生配信イベントを実施します。テーマは「科博から広がる自然科学の世界」。「かはくチャンネル」をご覧ください。

詳細は、<https://www.kahaku.go.jp/procedure/press/pdf/671838.pdf>

おうちで“かはく”を楽しもう 自宅で楽しめるコンテンツ <https://www.kahaku.go.jp/news/2020/COVID-19/stayhome.html>

過去の当館の企画展の監修者による展示紹介動画、簡単な観察や工作などの学習プログラムなど多様なオンライン・コンテンツを発信しております。

国立科学博物館のご案内

詳細は、<https://www.kahaku.go.jp/> をご覧ください。



1. 上野本館（東京都台東区）

良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、メッセージ性を重視することにより、常設展示のメインメッセージである「人類と自然の共存をめざして」を体系的に、わかりやすく伝えられるような展示構成としています。

日本館

「日本列島の自然と私たち」をテーマに、日本列島の自然と生き立ち、日本人の形成過程、そして、日本人と自然の関わりの歴史を展示しています。重要文化財に指定されている日本館では、フタバスズキリュウの化石、忠犬ハチ公（秋田犬）、カラフト犬ジロ、縄文人や弥生人、フォーコーの振り子などが、皆さんをお待ちしております。



地球館

「地球生命史と人類」をテーマに、地球の多様な生き物が、お互いに深く関わり合っている姿、地球環境の変動の中で生命が誕生と絶滅を繰り返しながら進化してきた道のり、そして、人類の知恵の歴史を展示しています。地球館では、恐竜やマンモスなどの化石、ジャイアントパンダをはじめとした多くの動物のはく製、小惑星探査機「はやぶさ」が採取した小惑星イトカワの微粒子、江戸時代に制作され重要文化財にも指定されている万年時計などが皆さんをお待ちしております。



※常設展の団体予約の詳細は、<https://www.kahaku.go.jp/procedure/groupuser2/> をご覧ください。

2. 筑波実験植物園（茨城県つくば市）

園内は「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。

※団体利用・見学申込の詳細は、<http://www.tbq.kahaku.go.jp/userguide/guide/index.html> をご覧ください。



3. 附属自然教育園（東京都港区）

園内では常緑広葉樹林、武蔵野の草原や雑木林、谷の湿地などが保存されており、多くの動植物を観察し、生態系の仕組みを学ぶことができます。

※団体利用の詳細は、<http://www.ins.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html> をご覧ください。



（参考）現在開催中の特別展・企画展

特別展「植物 地球を支える仲間たち」

2021年9月20日まで開催

企画展「加速器 -とてつもなく大きな実験施設で宇宙と物質の生命の謎に挑んでみた-」

2021年10月3日まで開催

企画展「日本の海洋調査への挑戦とあゆみ -JAMSTEC創立50周年記念-」

2022年3月21日まで開催

※今回、掲載している情報が、今後変更になる可能性もありますので、最新情報は当館のHPをご確認ください
ますようお願いいたします。